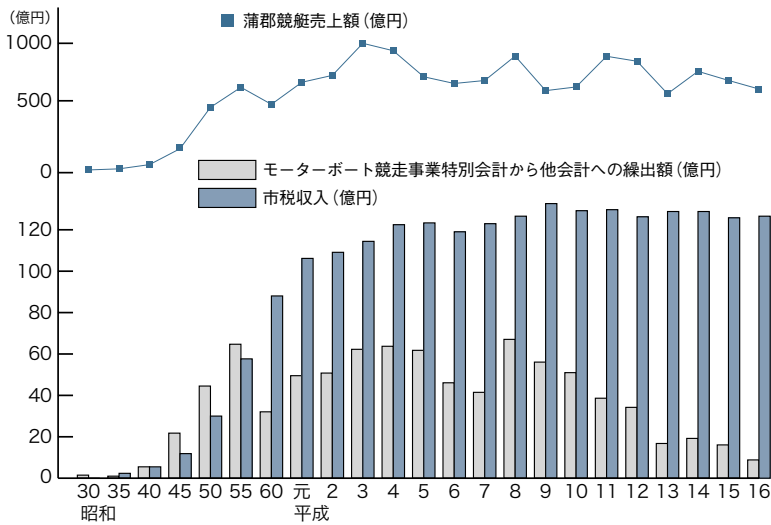


●売上額・繰出額の推移



市財政を支えた
競艇事業

競艇の売り上げは、昭和40年度は48億円、50年度は504億円、55年度には663億円と国民の生活水準が大きく向上するのに合わせて、右上がりに増加していききました。そして、競艇事業会計から繰り出される額も昭和40年度は5億6

千万円、49年度には55億6千万円、55年度には66億円と多少の増減があるものの、その額は、昭和56年度まで市税収入を上回り、市の財政に大きく貢献するようになりました。

その後、バブル経済がはじけ、売り上げは、平成4年度は95億7千万円、平成6年度は695億円と落ち込み、平成8年度では競艇界最

高峰のレース・SG競走を開催したため、912億円と持ち直しましたが、その後はSG競走を開催しても思うような売り上げ確保が難しい状況となっています。

この主な原因は、長引く景気の低迷、レジャーの多様化、ファン層の高齢化が要因といわれています。

繰出金は、平成元年度から10年度までは、40億円台から60億円台で推移していますが、平成13年度以降は、大幅に落ち



込み、今年度の当初予算では3億1千万円と今までにない厳しい状況となってしまいました。

**50年間で何と
1千641億8千万円**

皆さんご存知でしょうか。浦郡競艇が誕生して以来、平成16年度までに競艇事業会計から他会計への繰出金の総額は、何と1千641億8千万円にもなります。

そのお金は、皆さんの暮らしの中に生きています。内訳は、表のとおりですが、主なものは一般会計に616億8千万円、下水道事業に432億7千万円、病院事業に215億3千万円となっています。

一般会計のうち、クリーンセンターや保健医療センターの建設など、市民の皆さんの生活に密着した事業に使われています。

●競艇事業会計からの繰出金額内訳 (昭和30年度～平成16年度)

会計	繰出金額(億円)
一般会計	616.8
土地区画整理事業	228.7
公共用地対策事業	103.4
下水道事業	432.7
水道事業	44.9
病院事業	215.3
計	1641.8

そして、繰出金のほかに

防犯灯電気料の補助、トライアスロン大会や生涯学習団体への補助金、また、浦郡まつりへの負担金などにも支出しています。

「愛・地球博」にも協力

浦郡競艇では、平成14年度からすでに5回、万博開催のため、愛・地球博協賛レースを行い、売上金の3%を拠出しています。これまでの拠出金は2億2千427万円で、今年度も「第6回愛・地球博協賛競走」を8月2日から7日まで開催します。

